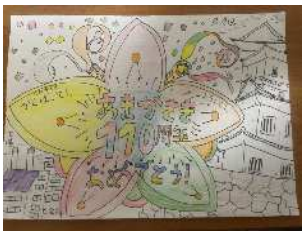
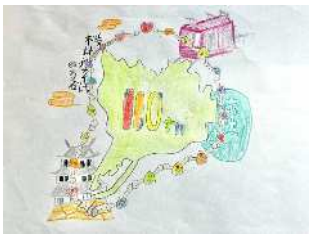
優秀賞

作品	デザインコンセプト
	尼崎を訪れる度に感じる楽しい雰囲気「活気の良さ・明るさ・ワクワク感」をデザインに込めました。また、テーマをイメージし文字同時を「つなげ」、踊るような曲線で「うごき」を表現いたしました。110thの両サイドにはあまっこちゃんを思わせるハートのような曲線をあしらい、あまっこちゃんカラーの赤色・茶色でまとめました。「市制」の文字は下に配置し、尼崎を支える「縁の下の力持ち」のようなイメージでデザインいたしました。
	2歳の子どもが描きました。これから成長する小さな手で、未来に向かって力強く描いています。

子どもデザイン賞

作品	デザインコンセプト
	尼崎の特性である尼崎城と工場を全面に押し出したデザイン
	尼崎のみんなの心がつながって、楽しい街の110周年になることを願って描きました。尼崎市の形に、尼崎城やあま野菜なども入れて、私の好きな尼崎をカラフルな絵にしました。
	今回のコンテストのテーマである「あまがさき　つなぐ　つながるうごきだす」から、電車の連結部分や線路がどこまでも続くイメージ、発車する様子を連想して切符をモチーフにしたデザインにしました。色も三色とシンプルに仕上げて見やすく、覚えてもらいやすくしました。またシンボルの一つである尼崎城を取り入れ、尼崎市らしさをだしました。
	テーマ 尼崎市110周年お祝い こだわり つながるように握手している感じを表しました。

	キャッチコピー「つなぐ　つながる　うごきだす」のメッセージを手を取り合い、寄り添いながらハートを形作るデザインで表現しました。 「つなぐ」とは、互いに手を差し伸べ、支え合うこと。 手をつなぎ合っている姿は、市民同士の深い絆と協力の象徴しています。 「つながる」とは、その支え合いの輪が広がり、地域全体が一体となることを表しています。 手をつなぐ数字たちが集まり、ひとつのハートを形づくることで、その結びつきの広がりを表現しています。 そして「うごきだす」とは、つながった私たちが共に未来へ向かって動き出すこと。 このハートは、共に築いた絆と希望がまとまり、新たなまちづくりへの第一歩を象徴しています。 110周年を迎えた尼崎の歴史は、互いに支え合い、助け合ってきた市民の力によって築かれてきました。 その根底にある人と人とのつながりを尊重しながら、これからも共に手を取り合い、新しい未来を築いていく思いを込めています。
	・尼崎市の色々な個性をイメージしてカラフルな色にしました。 ・「つなぐ」は外枠のロープでイメージして、「つながる」「動き出す」は手と手を取り合う絵でデザインしました。 ・手と手を取り合う中にはハートもあります。 ・これからも尼崎市が賑やかで楽しい場所であってほしいと思います。
	『110年人と人がつながってきた』ことを表現しました。 青と緑は『海と緑』を表し、 黄色は『人々でつつみこむ。人々で守る』を表しました。
	つなぐをあらわすために手をつないでいる人をかきました。 うしろにはうごきだすをイメージした未来のとうをかきました。 色は未来をイメージしたあざやかな黄色と青と水色です。
	ハナミズキの花をイメージして作りました。左上に歴史、左下に産業・工業、右下に自然、右上に新しく生ま変わった尼崎城やゼロカーボンベースボールパークでここ10年の変化を表しました。 市の木「ハナミズキ」には、「永続性」や「感謝」という花言葉があり、110周年にわたる尼崎市の歴史に感謝し、4つの花びらがつながりを生む、未来に期待を込めました。

	あまやさいで仲良く110周年です。まわりはハートがいっぱいです。